

第6学年 国語科 主張に説得力をもたせる工夫を見付けよう ～『笑うから楽しい』『時計の時間と心の時間』～

学習指導者 東 泰右

見通し 1 学習課題を確認する。[情]【説得力マスターへの道】

本時ではまず、学習計画と単元のゴールを位置付けた「説得力マスターへの道」を基に、前時の学習を振り返り、前時の最後に設定した本時の学習課題を確認した。そして、「主張でも事例でもない段落の役割が分かると、どんないいことがあるのかな」と問い、数名に発表させることで、課題設定の理由を全体で共有した。



説明する力が付いて、「説得力マスター」に近付けると思います。

「私の主張会」で他の人を納得させられるようになると思います。

【価値付け】課題設定の理由を全体で共有した後で、「主張でも事例でもない段落の役割が分かったら、2回目の『私の主張会』に生かせそうだね」と共感した。

主張でも事例でもない段落の役割について考えよう

行動 2 二、七段落の役割について考え、交流する。[社]【いろいろ見方イム】

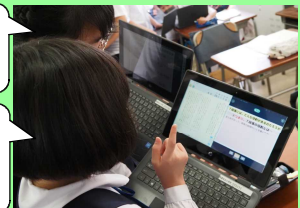
主張でも事例でもない段落の役割について考えたことを書いたカードを学習支援アプリに集約して共有することで、子供たちが手元の端末で全員の考えを一覧で見られるようにした。そして、自分とは異なる考えを書いている友達を一覧から見付け、自由に考えを聞きに行ける時間を設けることで、多様な考えに触れながら、論の進め方についての理解を深めたり、自分の考えに自信をもったりできるようにした。



〇〇さんの考えは、自分とは違うな。どうしてこう考えたのか聞きに行ってみよう。他には誰に聞きに行こうかな。

私は、七段落の役割は「事例のまとめ」だと思ったよ。理由は…。

私は「主張へのつなぎ」だと思うよ。事例をまとめて、最後の主張につないでいるんじゃないかな。

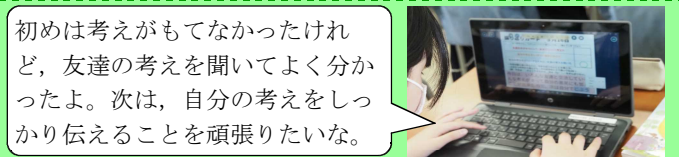


【価値付け】自由交流の後に、再考してカードに加筆した子供を取り上げ、「〇〇さんのように、いろんな考え方の人と進んで交流したから、二、七段落の役割についての考えが深まったんだね」と称賛した。

自由交流の後で、友達と交流したことを基に、論の進め方について再考する時間を設け、考えが変わったり付加されたりしたところをカードに加筆して再提出させた。

振り返り 3 本時の学習を振り返る。[信]【自分を見つめタイム】

学習支援アプリを用いて、「考えをつくる」、「考えを伝える」「考えを聞く」という学び方に関する三つの観点の中から、本時、自分がいちばんよくできたと思うものを選びさせることで、本時の頑張りを想起して、自分の成長を感じられるようにした。その後、振り返った内容を基に、「次頑張りたいこと」を記述させた。



初めは考えがもてなかったけれど、友達の考えを聞いてよく分かったよ。次は、自分の考えをしっかりと伝えることを頑張りたいな。

【価値付け】振り返りの記述内容を数人に発表させた後、「今日の頑張りを思い出しながら、自分の成長したところを考えられているね。〇〇さんのように、次頑張りたいことを具体的に考えられている人もいてすごいね」と称賛した。

考察 (○：成果, ●：課題)

- 全員の考えを一覧で見れるようになっていたことと、自分とは異なる考えの人に聞きに行くというルールがあったことで、自分の考えをよりよくしようと、目的をもって積極的に交流できていた。
- 振り返りでは、項目ごとに○×でチェックするのではなく、いちばんよくできたと思うところに○を付けさせたことで、子供が自分の頑張りに目を向けて、自信を高めることができていた。
- 本時の課題を解決することと、単元のゴールとのつながりを意識できていない子供がいた。「説得力マスター」とはどんなものかをさらに具体化して共通理解しておく必要がある。
- 自分の考えをつくれていない子供がいた。段落の役割を考える際の手掛かりが他にも必要だった。